

# 府職労2012自治研究集会 110名の府民・職員が参加



府職労は7月14日、「憲法と地方自治にもとづく自治体労働者の役割を發揮し、職場から仕事を具現する運動の前進を府民との共同を以て」をテーマに、その実践の第一歩として、「府職労2012自治研究集会」を開催しました。集会には府民団体21名を含む110名が参加しました。

## 自治体労働者と府民の共同で 憲法と地方自治にもとづく府政を

### 府民団体からの発言(要旨)

受けました。有田副委員長から自治研究集会にあつた「基調報告」とともに「職場から仕事を具現する運動の前進を府民との共同を以て」をテーマに、その実践の第一歩として、「府職労2012自治研究集会」を開催しました。集会には府民団体21名を含む110名が参加しました。

池田書記長からアンケート結果を全めた職場実態と今後の取り組みについて報告し、3つの府民団体(生活と健康を守る会、大阪府職労連、大手前森之宮まちづくり研究会)からは、住民への厳しい攻撃に対する実態報告と府職労への期待の声を寄せられました。

府職労は7月14日、「憲法と地方自治にもとづく自治体労働者の役割を發揮し、職場から仕事を具現する運動の前進を府民との共同を以て」をテーマに、その実践の第一歩として、「府職労2012自治研究集会」を開催しました。集会には府民団体21名を含む110名が参加しました。

「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。そのために住民との対話をしっかりと継続していかなくてはならないと思つた。◆住民と一緒に住民要求を実感して自治研活動を展開することの大切さを感じました。◆府の役割が着々と削減されている。公務員パッシングに負けないで反撃の運動を幅広く展開することが重要だと感じました。◆保健所で「訪問できない苦しみ(申し込まず)」が、いつしか「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。



私は人工透析を開始してもうすぐ12年になります。難病患者で身体障害者手帳を持つのは19・7%しかいません。7月10日に大阪府と交渉をしましたが、府は「心接」という対応で回答も「国(上の者)に伝える」とか「困難」ばかりです。難病患者として、25年度を自途とする重度障害者医療の全面的「改革」は、給付と自己負担の見直しで、医療中断や抑制につながる命に関わる重大問題です。国保の広域化(府一本化)も保険料の値上げに



秋吉事務局長次長 大阪生活と健康を守る会大生連 大生連には、1万8千世帯が加入し36の支部があります。芸能人家族の生活保護をだてに保護の申請をされるなら自給者や餓死が増える「子どもら兄弟に迷惑をかけるられない」、まず

つながる可能性が高くなる。府立病院と保健所が遠くなったことを実感しています。「府立病院」も「急性期総合医療センター」と名前が変わり、慢性疾患の患者は利用しづらくなっています。保健所も13所に減り、不便になり手続きも大変です。この自治研集会に参加し、保健師の方も限られた人数で1人ずつの患者に接することも困難で大変な状況と実感しました。ともに力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

大阪府の成人病センターの移転を前提とした「大手前・森之宮地区の土地利用基本計画(案)」に対して「大手前・森之宮まちづくり研究会」は、府職労や地域住民のみなさんと一緒に、運動を進めてきました。昨年9月には「府庁舎は大手前をええ、成人病センターは森之宮をええ」と回答を得ています。

家族にはいろんな事情があります。「扶養義務」キヤンペーンで「法的に生活保護を受けたい」と思つても、いのちを奪うことにもつながります。府民の生活と健康を守るために、今後も運動していきたいと思います。

◆住民と自治体労働者の連帯と共同行動は流れを変える」という指摘に納得しました。◆「弱者」の公務への期待ももっと敏感にならなければと思つきました。◆住民と一緒に住民要求を実感して自治研活動を展開することの大切さを感じました。◆府の役割が着々と削減されている。公務員パッシングに負けないで反撃の運動を幅広く展開することが重要だと感じました。◆保健所で「訪問できない苦しみ(申し込まず)」が、いつしか「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。

◆労働者の声をいかに聞く取り組みに感銘を受けました。つながりをつくっていく、理解を深めていく取り組みについて、ともにがんばっていかたいと思います。◆アンケートにもとづく職場から仕事を見直す運動の前進で、府民との共同を以て「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。今後とも継続していかたいと思つています。◆それぞれの職場の状況がよく分りました。◆職場の状況がよく分りました。人員減・業務委託の中で公務労働の苦勞を感じました。直接にお聞きする場がないので、行政の現場を知ることができました。

生活保護パッシングはいのち奪うこと 秋吉事務局長次長 大阪生活と健康を守る会大生連 大生連には、1万8千世帯が加入し36の支部があります。芸能人家族の生活保護をだてに保護の申請をされるなら自給者や餓死が増える「子どもら兄弟に迷惑をかけるられない」、まず

つながる可能性が高くなる。府立病院と保健所が遠くなったことを実感しています。「府立病院」も「急性期総合医療センター」と名前が変わり、慢性疾患の患者は利用しづらくなっています。保健所も13所に減り、不便になり手続きも大変です。この自治研集会に参加し、保健師の方も限られた人数で1人ずつの患者に接することも困難で大変な状況と実感しました。ともに力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

家族にはいろんな事情があります。「扶養義務」キヤンペーンで「法的に生活保護を受けたい」と思つても、いのちを奪うことにもつながります。府民の生活と健康を守るために、今後も運動していきたいと思います。

◆住民と自治体労働者の連帯と共同行動は流れを変える」という指摘に納得しました。◆「弱者」の公務への期待ももっと敏感にならなければと思つきました。◆住民と一緒に住民要求を実感して自治研活動を展開することの大切さを感じました。◆府の役割が着々と削減されている。公務員パッシングに負けないで反撃の運動を幅広く展開することが重要だと感じました。◆保健所で「訪問できない苦しみ(申し込まず)」が、いつしか「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。

◆労働者の声をいかに聞く取り組みに感銘を受けました。つながりをつくっていく、理解を深めていく取り組みについて、ともにがんばっていかたいと思います。◆アンケートにもとづく職場から仕事を見直す運動の前進で、府民との共同を以て「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。今後とも継続していかたいと思つています。◆それぞれの職場の状況がよく分りました。◆職場の状況がよく分りました。人員減・業務委託の中で公務労働の苦勞を感じました。直接にお聞きする場がないので、行政の現場を知ることができました。

◆労働者の声をいかに聞く取り組みに感銘を受けました。つながりをつくっていく、理解を深めていく取り組みについて、ともにがんばっていかたいと思います。◆アンケートにもとづく職場から仕事を見直す運動の前進で、府民との共同を以て「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。今後とも継続していかたいと思つています。◆それぞれの職場の状況がよく分りました。◆職場の状況がよく分りました。人員減・業務委託の中で公務労働の苦勞を感じました。直接にお聞きする場がないので、行政の現場を知ることができました。

## 安心して府民のための医療に従事できる職場環境と労働条件を 不当な当局提案を職員の団結と府民との共同で跳ね返そう！

府立病院機構は6月28日に「一般地方独立行政法人(非公務員型)への移行について」職員の仕事内容の給与反映について「提案の撤回を迫り、不当性を追及していきます。」

### 昼休み時間の変更の中止を求める緊急申し入れ書

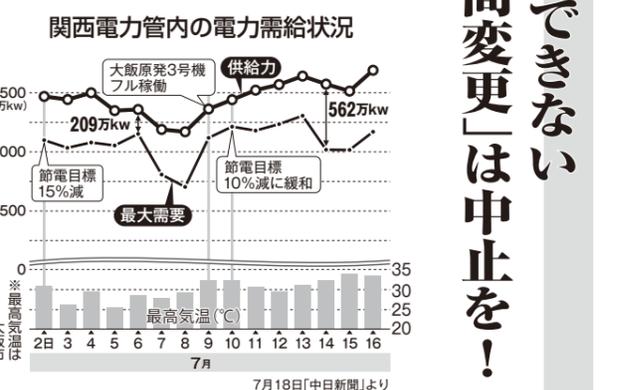
府当局は多くの反対意見を押し切って、7月2日より昼休み時間の変更を行いました。職場からは「府民への周知も不十分でまともに休憩できない」「猛暑の中、昼食時間が遅くなり、体調が良くない」など、強い不満の声があがっています。

また、政府の節電要請のあった2日から16日までの2週間の関西電力管内の電力供給で、最大需要は2301万キロワットにとどまり、出力118万キロワットの大阪原発3号機が再稼働しなくても、供給力を9%も下回っていたことが明らかになっています。

関西電力が5月にまとめた試算では、原発ゼロのままでは、7月前半は8.2%の供給力不足が生じるとし、再稼働の必要性を強調してきました。また、関西電力は原発再稼働と同時に火力発電所の稼働を停止しており、関西電力の「電力不足キャンペーン」が「原発再稼働のため」のものであったと推定せざるを得ません。

## 「電力不足」は大飯原発再稼働のため!?

「7月前半は8.2%の供給力不足」との関西電力の試算に反し、原発を再稼働しなくても供給力が9%以上の余裕があることが明らかになりました。また、関西電力は原発再稼働と同時に火力発電所の稼働を停止しています。こうした状況を踏まえ、府職労は25日、府当局に対し、職員に多大な犠牲を強いている「昼休み時間の変更」を中止するよう申し入れました。



## 感想文より

◆労働者の声をいかに聞く取り組みに感銘を受けました。つながりをつくっていく、理解を深めていく取り組みについて、ともにがんばっていかたいと思います。◆アンケートにもとづく職場から仕事を見直す運動の前進で、府民との共同を以て「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。今後とも継続していかたいと思つています。◆それぞれの職場の状況がよく分りました。◆職場の状況がよく分りました。人員減・業務委託の中で公務労働の苦勞を感じました。直接にお聞きする場がないので、行政の現場を知ることができました。

## 府民の感想

◆住民と自治体労働者の連帯と共同行動は流れを変える」という指摘に納得しました。◆「弱者」の公務への期待ももっと敏感にならなければと思つきました。◆住民と一緒に住民要求を実感して自治研活動を展開することの大切さを感じました。◆府の役割が着々と削減されている。公務員パッシングに負けないで反撃の運動を幅広く展開することが重要だと感じました。◆保健所で「訪問できない苦しみ(申し込まず)」が、いつしか「必要ない」と思つた人が増えることを危惧します。